



# おうみ映像ラボ

since 2014

## おうみ映像ラボについて

おうみ映像ラボは、滋賀県内の伝統行事や生活記録が収められた映像の情報を収集・発信し上映していく団体です。滋賀県各地で「見聞会・遠足・上映会」など企画を行い、映像に残される滋賀の美意識や技術知恵、地域性・共同体のあり方について再認識・共有する、世代を超えたコミュニティの場を創出しています。



おうみ映像ラボのメンバー  
大藤寛子・藤野ひろ美・長岡野亜・大原歩

# 瓦版

KAWARABAN  
2018

## 8ミリフィルム発掘プロジェクトについて

滋賀県内で撮影された昭和30〜50年代の8ミリフィルムを探しています！  
みなさんのご家庭に8ミリフィルムは眠っていませんか？

8ミリフィルムを上映するまで

「1」おうみ映像ラボまでお問い合わせ。

映像の内容がわからなくても大丈夫です。  
お気軽にお問い合わせください。

「2」ご提供いただく8ミリフィルムを試写や、映像をデータ化する方々を紹介いたします。

「3」ご承諾いただいた方のみ、みんなで寄り合ってみる上映会で鑑賞します。

## お問い合わせ

TEL 080 9603 5680  
MAIL [omiaizo\\_lab@yahoo.co.jp](mailto:omiaizo_lab@yahoo.co.jp)  
facebook [www.facebook.com/omiaizo.lab](http://www.facebook.com/omiaizo.lab)  
Twitter [https://twitter.com/omiaizo\\_lab](https://twitter.com/omiaizo_lab)

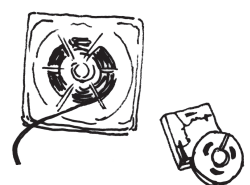
2017年よりWEBサイトを開設しました。上映作品の情報、活動情報などまとめています。



おうみ映像ラボの情報はコチラから！



平成30年度 地域の元気創造・暮らしアート事業 / 平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



## 2018 おうみ映像ラゴ活動報告

8ミリフィルム・16ミリフィルム  
映像上映会

『あのととき あの場合 私のくらし』

〔日時〕

2018年12月9日(日)

14:00～16:30

〔会場〕

草津市立市民交流プラザ音楽室

〔ゲスト〕

伊庭功さん

(滋賀県平和祈念館専門員)

映像提供者

〔協力〕

株式会社吉岡映像

2015年より始まった『8ミリフィルム発掘プロジェクト』これまで多くの方からフィルムをご提供いただき、上映会等を開催してきました。そんな中、戦中の16ミリフィルムを保存しているというご連絡をいただいたのは、2017年秋。この大変貴重な映像をようやくご紹介することができました。

まず、この映像の所有者である高岡さんからフィルムを発見した経緯と映像の概要をお話いただき、上映。

途中、高岡さんからの説明が入り、『村葬』が行われた志津小学校のあたりは今も多くの面影が残るとのことでした。続く、旧八日市小学校の映像には、当時撮影を行った先生方のものと思われる音声の解説が入り、作成時の状況がよく分かります。

驚くのは、運動場に整然と並ぶ子供たちが、みな同じ体操服を着用し、一見、今とほぼ変わらない日常生活が営まれていること。

その後、滋賀県平和祈念館の伊庭さんから、昭和初期の日本は、戦争特需によって景気が高揚していたこと、また、日清・日露戦争以降戦死者の郷里で行われる葬儀は、村葬や町葬など「公葬」であったことなどの解説があり、茫洋と抱いていた「戦中」のイメージが覆る映像でした。

今回の上映会のきっかけとなった高岡さんは、幼い頃からおじさまが亡くなられるまで、たびたび伯父・堅太郎さんの話を聞き、蔵から、堅太郎さんの遺品とともに16ミリフィルムを見つけたとき、なんとかして見たい、今、デジタル化しておかないと次代に残らないと思われました。私たちが『8ミリフィルム発掘プロジェクト』を続けているのも同じ思いです。このような上映会を開催すると多くのお客様から「昔、家にはあったなあ」「もう見られないし捨てたわ」との声をいただきます。映像は多くの情報をみなで共有することができます。今後このプロジェクトを続けて、貴重な情報を次代につなげていきたいと思いました。



1 草津での村を挙げての葬儀

### 上映作品

#### 1 『草津での村を挙げての葬儀』

1937年撮影か／約12分／『所有』個人

昭和12年、中国・上海事変で戦死された高岡堅太郎さんの葬儀のようす。駅での出兵風景から満州へと向かう船上、満州鉄道のホームのようす、その後、遺骨となって、船で帰還され、草津・志津小学校を会場に、多くの村民が参列した『村葬』までまとめられている。高岡さんの甥にあたる所有者が蔵から発見し、2017年デジタル化を行う。どのような経緯で、このフィルムが作成・編集されたかは不明。16ミリフィルム。

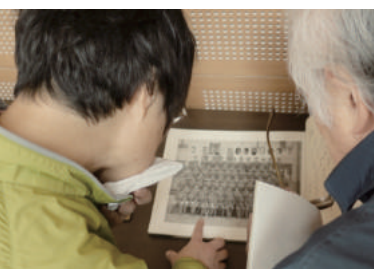
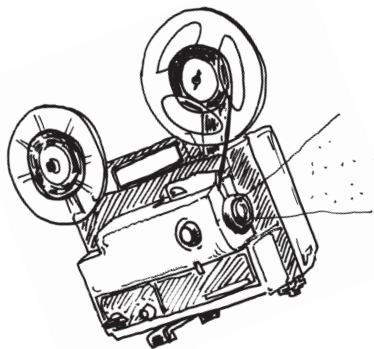


2 旧八日市国民学校16ミリ映画の記録から 輝かしい朝

#### 2 『旧八日市国民学校16ミリ映画の記録から 輝かしい朝』

1936～1939年撮影／約40分／『所有』東近江市八日市図書館

昭和11年から14年、旧八日市小学校の教師等が、当時開催された初等科教育研究会の発表用に撮影。運動会や避難訓練などの学校行事、起床から登校のあいさつ、宿題、就寝までの子ども達の家庭での姿などが、教育方針のテロップを織り交ぜながら収められている。他にも、八日市駅での出征のようすや八日市飛行場での飛行訓練などの映像もあり。昭和63年に大小合わせて6巻、未編集の状態で見られたフィルムが上映用に再編集されている。16ミリフィルム。



高岡さんの貴重なアルバムを閲覧・展示しました。



平和祈念館の伊庭さん。  
映像の時代背景など詳しく解説いただきました。



8ミリフィルム映写機を使って上映しました。  
吉岡映像の技師さんが担当。



上映風景



3 増田家

### 3 『増田家』

16ミリフィルム／昭和8年〜12年頃／54分／『撮影・編集』増田さん  
増田家の16ミリのプライベートフィルム。当時の旅行の様子を子どもの成長と共に撮影されている。

おうみ映像ラボ2017「8ミリフィルム上映会」大津歴博『私の大津』昭和初期から平成まで』にて上映。

解剖学教室、保津川下りと筏流し、八坂神社と市電、宇治の舟遊び、動物園、御所、市民らの寄付で甦った大阪城天守閣、駕籠に乗って比叡山観光、あやめ池。あやめ池では母、息子、カメラを回す増田さんに乗せてボートを漕ぐ妻の姿が収録されている。

### 4 『春休み』『宿場まつり』『日中友好』 『ローテンブルク中世のまつり』

斎藤家の8ミリのプライベートフィルム4本。当日、フィルム上映を行いました。

- 1 『春休み』昭和52年3月／8分20秒
- 2 『宿場まつり』昭和52年4月／11分
- 3 『日中友好』（サウンド）撮影年不明／27分20秒
- 4 『ローテンブルク中世のまつり』（サウンド）  
撮影年不明／12分20秒



4 春休み

### 「私の滋賀」シリーズ映像制作

「私の滋賀」というシリーズのインタビュー動画を制作し、YouTubeで公開しています。活動場所や滋賀らしいと思う風景（視覚）、ご本人の声（聴覚）で、「滋賀」を浮かび上がらせたいと考えています。2018年度は一組の親子の動画を制作。

### 『私の滋賀 2018』

「出演」中島すず子さん・長澤康博さん  
「撮影・編集」atelier KHRUA  
「ドローン撮影」ながはま森林マツチングセンター

滋賀県長浜市西浅井町菅浦で暮らす中島さんと長澤さん親子。菅浦は中世より、村人の自治組織である「惣」によって、自分たち自身で村を守っていたという歴史をもつ地域です。中世の村の具体的な暮らしを知る事ができる。「菅浦文書」は国宝に、古の生活が残る「菅浦の湖岸集落景観」は重要文化的景観となっています。長らく、集落外へは船か徒歩での山越えで行き来し、道路や港が整備されてから、変わっていった生活。琵琶湖と山に包まれた日々から感じておられることとお話しいたできました。



菅浦集落を見渡す



中島さんと長澤さん親子

### 映像ワークショップ参加レポート

「第13回映画の復元と保存に関するワークショップ」に参加しました

8月24日〜26日の3日間、京都府京都文化博物館フィルムシアターをメイン会場に行われた「映画の復元と保存に関するワークショップ」に参加しました。映像・映画に関わる6つの主催団体、17の協力団体が実施されています。今年のテーマは、「映像文化の未来へ」。初日は「国立民族学博物館」（大阪府吹田市）の見学を選択。人類学、民族学的見地からの記録映像を多く所蔵している博物館での、映像記録方法のレクチャーと、映像保存施設を見学しました。2・3日目は、京都文化博物館フィルムシアターにて、かがえのない文化遺産である映画・映像を次世代に継承するために、どのような技術や地域での取り組みが必要かを、市町村・行政・企業・個人の様々な立場での事例が発表されました。おうみ映像ラボもライトニングトークで活動を発表しました。

「学術的な視点や地域での取り組みとしてのアーカイブの観点を加え、今日ある映像文化を如何に将来へつなげるかを考える」ためのプログラムとなっており、おうみ映像ラボとしても、滋賀県の映像アーカイブを考えるうえで大変参考になり、各地の映像アーカイブに携わる方々とつながりを持つことができる貴重な機会となりました。

「映画の復元と保存に関するワークショップ」  
<http://filmpres.org/project/project02/program2018-2/>



京都府京都文化博物館  
会場風景



国立民族学博物館全景

### 成安造形大学にて講演・上映会を行いました

連続講座「近江のかたちを明日につなぐ」第1回「近江」記憶と記録のかたちー8ミリフィルムからみる近江の暮らしーにて講演しました。

2018年6月30日（土）  
成安造形大学 聚英ホール

成安造形大学附属近江学研究所（滋賀県大津市）が主催する公開講座にて、「8ミリフィルム発掘プロジェクト」の中で提供されたフィルムを8ミリフィルム映像提供者のお二人と映像技師の吉岡氏をゲストに迎えて上映しました。その後、映像の記録や保存、その活用について対談形式で発表し、8ミリフィルムの貴重な価値を伝える機会となりました。



これまで8ミリ発掘プロジェクトで出会った映像も紹介しました。



映像提供者の小林さん。昭和28年に手に入れたカメラで家族の様子を記録してきたお話をしていただいた。



映像提供者の岸野さん。びわ湖駅伝の思い出を語っていただきました。



講座後半は座談会形式で映像の保存・活用について話題提供を行いました。



映像フィルムについて吉岡映像さんによる解説。



1 関西学生びわこ駅伝

### 上映作品

#### 1 『関西学生びわこ駅伝』

昭和36年／約30分／「撮影・編集」立命館大学陸上部(当時)／「所有」個人

昭和36年12月に開催された琵琶湖一周大学駅伝の映像。当時立命館大学陸上部監督の芝田先生による撮影。滋賀県庁前から出発し、湖西を北上時計回りで2日間にわたり行われるレースが記録されている。背景に広がる風景に当時の風景が見える。また、現在行われていない駅伝でもあり、その記録としても貴重な映像である。8ミリフィルム

#### 2 『小林家』

昭和40〜50年代／各5〜8分／「撮影」小林庄二さん／「所有」個人  
大津市仰木地区に在住の小林家のプライベートフィルム。お正月準備の餅つき、消防団小型ポンプ操法大会の様子の2本を上映。8ミリフィルム。



2 小林家



1 大津まつり

#### 2017 おうみ映像ラボ 活動報告

8ミリフィルム映像上映会  
大津歴史博

#### 『私の大津―昭和初期から平成まで―』

2017年12月3日(日)  
11:00〜16:00

大津市歴史博物館

大津市歴史博物館との共催で、博物館所蔵の滋賀県内で撮影された昭和初期から平成までのフィルム映像を上映。8ミリ・16ミリフィルムなど、大津市歴史博物館所蔵未公開フィルムも含め、貴重なプライベート映像を中心に、そのご家族・関係者をゲストに迎え、参加者のみなさまとタイムトラベルしました。

持ち込みフィルムの試写ではご両親の結婚式の様子を初めて見ることが出来た、と所有者の方にとっても喜んで頂きました。長時間の上映会にも関わらず、たくさんの方が時間を共にしてくださいました。



2 増田家



3 懐かしの江若鉄道1969

#### 上映作品(二部)

##### 1 『大津まつり』

16ミリフィルム／昭和7年／16分38秒／「撮影・編集」竹内鸚亮さん

戦前の大津祭の様子を記録したもの。曳山の巡行や神事行列の往時の姿などとともに、祭礼で賑わう町の様子や人々の服装など、当時の大津町の景観を知るうえにおいても貴重な映像。

##### 2 『増田家』・映像情報は3p参照

##### 3 『懐かしの江若鉄道1969』

8ミリフィルム／昭和44年／22分30秒／「撮影・編集」徳田平八郎さん

廃線間際の江若鉄道の様子を撮影したものの。運転台からの映像やお別れのセレモニー、バイクで列車と並走しながら撮影した映像などが収録されている。

当日の様子映像記録はこちら！



おうみ映像ラボ 上映記録 チラシ

#### 「私の滋賀」シリーズ映像制作

「私の滋賀」というシリーズのインタビュー動画を制作し、youtubeで公開しています。活動場所や滋賀らしいと思う風景(視覚)、ご本人の声(聴覚)で、「滋賀」を浮かび上がらせたいと考えています。2017年度はお二人の動画を制作。

#### 『私の滋賀2017』

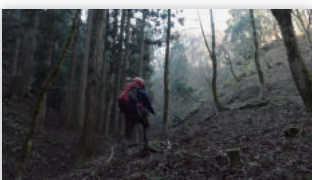
「出演」山田和(のどか)さん (映画監督)

撮影当時14歳の映画監督。脚本を作り、撮影編集を経て一本の映画が出来あがります。和さんの撮りたい映像を実現させようと人々の力が集まり、進む撮影。さまざまな出会いを得て、生まれる和さんから見える風景。  
協力 高島市立安曇川図書館

「出演」小松明美さん

(巨木と水源の郷をまもる会 代表)

びわ湖源流の森や森と共に暮らしてきた人々の生活文化をまもる団体。伐採されてしまいう巨木(主にトチノキ)の保全、観察会や調査、苗育て、とち餅づくりなどを通じて、山や森、川のすばらしさや現状を多くの人々に伝えておられます。  
小松さんと山との出会い、活動の源をお聞きました。



小松明美さん



山田和(のどか)さん

